## 女性の交流拠点を開設

## とめ女性支援センター

モニー・レセプション

ウ

才

ーキン

グ

で

()

()

汗

ーツまつ

()

を一部改装して開設したものですセンターは、国の補助金を活用し 旧整噕

ウオーキングに参加した小野離5・6キロのノルディック平筒沼周辺を歩きました。距 も、歩きながら も、歩きながら いいですね」と グ」の二つのコースに分かれ、と「ノルディックウオーキン 「いつも見て と笑顔で話 (米 山

## 米山で市スポ 市ス

テーマは、 今年のスポーツまつりり (し錐には、約32 して開催して、 テ 者は ポー 年が7回目。 ーマはウオー 体育の日 -ツまつりが米山町で体育の日の10月8日、 。主会場の平筒沼ているもので、今 -キング。参加 町で開催

「森林浴ウオ -キング」

歩きながら見ると気持ち 、いる風景で米山町狐崎) して

のないで、「

ながら歩く参加者 秋晴れの下、平筒沼周辺の自然を楽しみ

りしていました。

σ 宕 ものです。 ため、市が毎年開催している 総合科学大学の熊谷修教授。講師は、石巻市出身で人間 人間

を遅らせる

ターには、市内からり、会場の南方農村環境改善セン 、またこくり 人が参加しました。 健康なまちづく 講演会は、

は、うなずいたりメモを取っす」と強調しました。参加者てからの粗食は老化を早めま要です」と話し「高齢になっ要化をいかに遅らせるかが重 たりしていました。 気になる大きな要因は老化。題して講演した熊谷氏は「病 を遅らせる食の手立て~」「食で元気になろう!~老 」 老 と 化

食事でいつまでも元気

健康なまちづくり講演会

В ループ「LaLaLaCLU 辞を述べました。 れることを期待します」 女性の憩いの場として活用さ市長が「南三陸町と登米市の センターの運営は、 (ラララクラブ)」 と大網 女性グ と 祝

した「とめ女性支援ネッ商工振興会、市が共同で設 ク >協議会」 市が共同で設立 が行 います。 1

プニングセレモニーには関係しセンターで行われたオーセレモニーが開催されました。

者ら約30-

人が出席。

布施孝尚

ワ

設,

9月29日にオープニング

援センター」

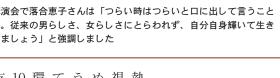
が迫町佐沼に開

りする場として「とめ女性支

したり市内の女性と交流した市に移住している女性を支援

東日本大震災で被災し登米





日



視察を通じて地域の課題をき執務し、市民との意見交換や市では、市長が総合支所で 支所 10 月 環。 ています。 うと「移動市 め細かく市政に生か 今年度の移動市長室は、 回目の移動市長室は単位に行う予定です から11月にかけて各総合 市 の広聴事業の一 長室」を実施 長室は中 していこ 田 L

動支援センター「ばっけの家」 孝尚市長が中田障害者地域活町域で10月4日に実施。布施 ました。 を訪れ、 施設を視察し 昨 リカシロヒト 会に出席したり、 通所者や指導員と意見交換 年 の大震災で被害を受けた また、 作業の様子を視察し トリの被害状況やたり、害虫のアメ をり L まし た。 U

落合恵子さんが「いま、共生 シンポジウムでは、作家の の人の市民が参加しました。 て講演。その後、「男女共同が共に生きる社会~」と題しの時~女(ひと)と男(ひと) 共同参画を考えるシンポジウ市では、9月9日に「男女 ム」を開催。 会場の中田農村 り方を語りました。町)、布施孝尚市長がそれぞ の立場から佐々木聖子さんディスカッションでは、企業ンが行われました。パネル 会委員の須藤明美さん(登米(迫町)、市男女共同参画審議 題してパネルディスカッショ参画社会の実現に向けて」と





たパネルディスカッション(左)をコーディネーターに、それぞれの(左)をコーディネーターに、それぞれのNPO法人ハーティ 仙台の八 幡悦子氏

## 地域現場を見る・聴く 移動市長室を実施